

平成29年度 有機合成化学北陸セミナー 講演要旨集

2017年（平成29年）10月6日（金）～7日（土）

会場：まつや千千（福井県あわら市舟津 31-24）

主催 有機合成化学協会関西支部
共催 日本化学会近畿支部
日本薬学会北陸支部
協賛 福井観光コンベンションビューロー

スケジュール

1日目（10月6日（金））

12：00～	受付開始
13：00～	開会挨拶
13：10～14：10	特別講演（S-01）
14：10～14：15	休憩
14：15～14：30	口頭発表（O-01）
14：30～14：45	口頭発表（O-02）
14：45～15：00	口頭発表（O-03）
15：00～15：05	休憩
15：05～15：20	口頭発表（O-04）
15：20～15：35	口頭発表（O-05）
15：35～15：50	口頭発表（O-06）
15：50～15：55	休憩
15：55～16：55	特別講演（S-02）
17：10～17：50	ポスター発表（奇数番）
17：50～17：55	交代時間
17：55～18：35	ポスター発表（偶数番）
19：00～	夕食・懇親会

2日目（10月7日（土））

7：00～	朝食
9：00～ 9：40	招待講演（I-01）
9：40～ 9：45	休憩
9：45～10：00	口頭発表（O-07）
10：00～10：15	口頭発表（O-08）
10：15～10：20	休憩
10：20～11：20	特別講演（S-03）
11：20～11：35	表彰式
11：35～11：40	次回の案内
11：40～11：50	閉会挨拶

講演者名簿（敬称略）

特別講演

(S-01) 笹井宏明（阪大産研）

(S-02) 白川英二（関学大理工）

(S-03) 山本悟功（参天製薬特例子会社 株式会社クレール）

招待講演

(I-01) 中村正治（京大化研）

口頭発表

(O-01) 斉藤真冬（富県大工）

(O-02) 藤野貴明（福井大院工）

(O-03) Phan Thi Hang Nga (Kanazawa University)

(O-04) 衣笠健太郎（同志社大理工）

(O-05) 岩田 大（福井大院工）

(O-06) 山澤優樹（富山大院理工）

(O-07) 斉藤元暉（金沢大院自然科学）

(O-08) 菅原颯馬（富山大院薬）

発表時間

特別講演：S-01～03（60分）質疑応答含む

招待講演：I-01（40分）質疑応答含む

口頭発表：O-01～08（発表12分，質疑応答2分，交代1分）

ポスター発表：P-01～P-30（奇数番号：前半40分，偶数番号：後半40分）

発表の予鈴

特別講演：1鈴（50分）・2鈴（55分）・3鈴（発表終了60分）

招待講演：1鈴（30分）・2鈴（35分）・3鈴（発表終了40分）

口頭発表：1鈴（10分）・2鈴（12分）・3鈴（発表終了14分）

講演プログラム

10月6日(金)

特別講演 1 (13 : 10~14 : 10)

- S-01 二重活性化型不斉触媒の創製
(阪大産研) 笹井宏明

口頭発表 1 (14 : 15~15 : 00)

- 0-01 イオン液体中でのマイクロ波加熱によるセルロースのメチルグルコシドへの効率的変換
(富県大工¹・富県大生工研セ²) ○斉藤真冬¹・岸本崇生^{1,2}・濱田昌弘^{1,2}・中島範行^{1,2}・占部大介^{1,2}
- 0-02 クラウンエーテルの分子内架橋による条件特異的な[2]及び[3]ロタキサンの形成
(福井大院工¹・東理大理²) ○藤野貴明¹・内藤博健¹・宮川しのぶ¹・川崎常臣²・徳永雄次¹
- 0-03 Enantioselective Synthesis of γ -Lactams via Palladium-Catalyzed Carbonylation of Homoallylic Amine Derivatives
(Kanazawa University, Graduate School of Natural Science & Technology)
○Phan Thi Hang Nga・Takuya Suga・Takahiro Soeta・Yutaka Ukaji

休憩 (15 : 00~15 : 05)

口頭発表 2 (15 : 05~15 : 50)

- 0-04 半導性を持つサブフタロシアニンにおける液晶性の検討
(同志社大理工)○衣笠健太郎・高木阿久斗・水谷義
- 0-05 光誘起電子移動によるアリールボレートからのアリールラジカル生成
(福井大院工)○岩田 大・吉見泰治
- 0-06 環拡大反応を利用した Schiglaütone A の合成研究
(富山大院理工)宮澤眞宏・○山澤優樹・小野寺麻衣・犬塚早紀・横山

初・平井美朗

休憩 (15 : 50~15 : 55)

特別講演 2 (15 : 55~16 : 55)

S-02 電子触媒クロスカップリング反応
(関学大理工) 白川英二

ポスター発表 (17 : 10~17 : 50 奇数番号, 17 : 55~18 : 35 偶数番号)

- P-01 β -O-4 型人工リグニンオリゴマーの合成研究
(富県大工¹・富県大生工研セ²) ○蒔栗奈¹・岸本崇生^{1,2}・濱田昌弘^{1,2}・中島範行^{1,2}・占部大介^{1,2}
- P-02 アシル化モノリグノールの酸化カップリング機構の解明
(富県大工¹・富県大生工研セ²) ○山下綾菜¹・岸本崇生^{1,2}・濱田昌弘^{1,2}・中島範行^{1,2}・占部大介^{1,2}
- P-03 Paracentrone の全合成研究：エンドグループの合成
(富県大工¹・富県大生工研セ²) ○兼山大輝¹・藤丸和美¹・濱田昌弘^{1,2}・岸本崇生^{1,2}・占部大介^{1,2}・中島範行^{1,2}
- P-04 環状トリグリセロールを有する新規蛍光センサーの開発
(富山県大・工及び生工研セ)○楊 博竣・濱田昌弘・岸本崇生・占部大介・中島範行
- P-05 アミジニウム-カルボキシレート相互作用に基づくヘテロ多量体の構築
(福井大院工¹・東理大理²) ○木村元紀¹・宮下純一¹・宮川しのぶ¹・川崎常臣²・徳永雄次¹
- P-06 ピロリジン誘導体による長環で働く自己複製システムの構築
(福井大院工¹・東理大理²) 上田将宏¹・○大熊侑香里¹・岡田紘樹¹・宮川しのぶ¹・川崎常臣²・徳永雄次¹
- P-07 α , β -不飽和ニトロンを用いた硫黄イリドとの反応によるジヒドロオキサジン誘導体の合成
(金沢大院自然科学) ○長谷川恵美・菅 拓也・添田貴宏・宇梶 裕
- P-08 フィトクロム光異性化の機構解明を目指したメソ位立体固定型フィ

- トクロム発色団の開発
(金沢大院・自然科学) ○大橋信彦・小林俊晴・田中雄大・添田貴宏・宇梶 裕
- P-09 CBL0137 の全合成研究
(富山大院理工) 横山 初・○山本智暁・井波真輝人・宮澤眞宏
- P-10 JBIR-23, 24 の不斉合成研究
(富山大院工理工) 宮澤眞宏・○國近幸樹・宝田光仁・奥野真健・横山初・平井美朗
- P-11 光安定性に優れた電子受容性フタロシアニンの合成
(金沢大院自然科学) ○宮路悠輔・前多 肇・千木昌人・古山溪行
- P-12 固体発光特性を持つシアノ化合物の合成と蒸気応答性
(金沢大院自然科学) ○篠崎潤一・前多 肇・千木昌人・古山溪行
- P-13 アルケンメタセシス反応によるピリジン-フェノール交互型らせんのホッチキス留め：反転しないらせん構造の創製を目指して
(富山大院薬) ○佐藤千紘・大石雄基・阿部肇・井上将彦
- P-14 ピリジンとフェノールを交互に 4 個ずつ連結したボウル状大環状分子の合成と二糖の選択的認識
(富山大院薬) ○山本直人・大石雄基・阿部肇・井上将彦
- P-15 糖を認識するピリジン-フェノールかご状分子のふたを開ける：糖は逃げるのか？
(富山大院薬) ○増田賢太郎・米田哲大・阿部肇・大石雄基・井上将彦
- P-16 スルホニウムイリドを用いるスピロシクロプロパンの開裂-環化反応によるクロマン骨格構築法の開発
(富山大院薬) 南部寿則・○大貫悠太・矢倉隆之
- P-17 オキサチアジナン *N, O*-ケタールの立体選択的アルキル化および還元反応の開発
(富山大院薬) ○広澤千晃・田中恵利・岡田麻依・野田成美・藤原朋也・南部寿則・矢倉隆之
- P-18 連続的 Rh(II)触媒反応を用いる抗トリパノソーマ活性マクロライド天然物 actinoallolide A の合成研究
(富山大院薬) 広澤千晃・○杉山光史・生方花奈・藤原朋也・南部

寿則・矢倉隆之

- P-19 Urolithin A Glucuronide の位置選択的合成研究
(富山大院理工) ○永井孝典・西森豪・堀野良和・阿部 仁
- P-20 パラジウム触媒を用いた三成分連結反応によるホモアリルアルコールの立体選択的合成
(富山大院理工) ○陸浦 至・菅田美樹・堀野良和・阿部 仁
- P-21 ピロロインドリジン骨格の短工程構築法の開発
(富山大院薬) ○松尾菜摘・杉本健士・松谷裕二
- P-22 バナジウム錯体を触媒とする多環式複素環の酸化的不斉カップリング反応の開発
(阪大産研) ○杉寄晃将・佐古真・滝澤忍・笹井宏明
- P-23 1,3-シス-イソインドリン化合物のエナンチオ選択的ワンポット合成
(阪大産研¹・阪大院薬²) ○瀧石朋大¹・H. D. P. Wathsala¹・岸鉄馬¹・Mohamed Ahmed Abozeid¹・平田修一¹・佐古真¹・村井健一²・藤岡弘道²・滝澤忍¹・笹井宏明¹
- P-24 フタリドと1級アミンの触媒的 direct 縮合による生理活性フタルイミジン骨格の構築: GaCl₃ の使用による反応条件穏和化と周辺反応の検討
(福井大院工¹・京都薬大²) 齊藤健太¹・西脇良典¹・荒武晃弘¹・松永崇利¹・高橋一朗¹・細井信造²
- P-25 有機合成における“Waste”の活用: ホスフィンオキシドを触媒とするアセタール生成反応の機構的検討と炭素-炭素結合生成反応への挑戦
(福井大院工¹・京都薬大²) ○勝木穂奈美¹・前田和哉¹・酒井翔矢¹・高橋一朗¹・細井信造²
- P-26 ベンゾトリアゾールを鍵合成子とする有機合成: 穏和な条件下の還元的アミノ化反応を鍵工程とする有機レセプター分子の構築
(福井大院工¹・京都薬大²) ○佐藤有史¹・西川裕樹¹・小島拓馬¹・三箇啓介¹・高橋一朗¹・細井信造²
- P-27 リグニン分解のための環状窒素四座配位子-鉄錯体触媒の開発
(京大化研¹・京大院工²) ○社納貴文^{1,2}・吉田亮太^{1,2}・磯崎勝弘^{1,2}・高谷光^{1,2}・中村正治^{1,2}

- P-28 キラル保持を目指した光脱炭酸による環状アミノ酸のラジカル付加反応
(福井大院工)○尾崎有唯・吉見泰治
- P-29 加水分解酵素と光脱炭酸によるエステルからの直接的ラジカル付加反応
(福井大院工)○和泉 有起・吉見 泰治
- P-30 新規なレドックス光有機触媒の合成および反応への応用
(福井大院工)○古谷峻熙・山脇夢彦・吉見泰治

10月7日(土)

招待講演 (9:00~9:40)

- I-01 化学資源を活用する有機合成化学の開拓
(京大化研 元素科学国際研究センター)中村正治

休憩 (9:40~9:45)

口頭発表 3 (9:45~10:15)

- 0-07 オリゴエチレングリコール鎖で架橋した(1,6)ピレノファン類の合成と蛍光特性
(金沢大院自然科学)○斉藤元暉・古山溪行・千木昌人・前多 肇
- 0-08 構成パーツの自発的整列による10 kDa級アルキニルピレン内包型ロタキサンの効率的な合成
(富山大院薬)○菅原颯馬・林滉一郎・由澤敦史・井上将彦

休憩 (10:15~10:20)

特別講演 3 (10:20~11:20)

- S-03 企業における仕事—参天製薬を例として
(参天製薬特例子会社 株式会社クレール)○山本 悟功